

さんらいずにゅうす

学校だより

2025年 7月1日

6月号

日出学園小学校

校長 荻原 巖

新緑の大運動会

当初の予定から1日順延となった運動会でしたが、当日は晴天に恵まれ、無事に実施することができました。子どもたちは練習の成果を発揮し、一人ひとりが競技や応援に全力で取り組む姿がとても印象的でした。

今年から団体種目が2学年合同で行われるようになり、同じ競技に取り組む中で学年をこえた一体感やまとまりが生まれました。1・2年生の玉入れでは、元気いっぱいに玉を投げる姿が微笑ましく、会場が和やかな雰囲気になりました。3・4年生の大玉送りでは、赤組・白組それぞれが声を掛け合いながら、タイミングを合わせて大玉を運ぶ姿にチームワークが感じられました。5・6年生の綱引きでは、全員が力いっぱい綱を引き合い、勝敗にこだわりながらも競技を楽しむたくましい姿が見られました。また、応援や係の仕事にも積極的に取り組み、運動会を自分たちの手でつくり上げようとする思いが伝わってきました。

保護者の皆さまには、温かいご声援と見守りをいただき、心より感謝申し上げます。これからも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

体育科 西谷 俊紀

応援団

赤白18名ずつの36名で【自分のやる気スイッチを入れる。さらに、自分たちの応援で友達のやる気スイッチも入れる。】を目標に4月から活動をしてきました。各クラスから選出された36名は主に朝の時間を使って練習を重ねていきました。一生懸命に応援するのは当たり前、選手から「応援を聞いて頑張ろうと思った!」そんな言葉がもらえたら応援団としては成功だね。ということは何度も伝えてきました。入場行進、エールに加えて初めての応援歌があったり、兄弟学年や色ごとの応援練習を行ったりもしました。応援が盛り上がらない時、自分たちの伝え方や立ち位置に問題が無かったか団長を中心に話し合いました。当日は応援団の声掛けて応援席がわっと盛り上がる瞬間が何度もありました。人や環境のせいにしないでどうすれば運動会が盛り上がるか常に自分に矢印を向けていた応援団はカッコ良かったです。誇りに思います。

応援団担当 小山 幸洋



鼓笛

運動会の伝統的な種目【5・6年生による鼓笛行進】では、『Let it go～ありのままで～』を演奏しました。高い所から撮影した動画を皆さんに配信させていただきましたが、ご覧になっていただけたでしょうか。一糸乱れぬフォーメーションが展開されており、感動した方もいるのではないかと思います。練習中は、「顔をあげて!」「胸を張って!」ということは何度も伝えました。リコーダーの演奏に慎重になって自分の指を見たり、白線からずれることを恐れて地面ばかりを見ていたりすると、それだけで他者意識はなくなり、列が揃わなくなるからです。多様性が広く認められる時代ではありますが、まずは『他者と合わせようとする(比較する)』ことも個性を尊重するのと同じぐらい大事だろうという信念で指導させていただきました。鼓笛行進が子ども達の成長の一助になれば教師として本望です。

音楽科主任 織間 将





運動会、頑張りました！



1年生

1年生にとって入学して初めての運動会。参加する種目は「走りだせ！元気いっぱい1年生」「ピカピカの1年生」「それいけ！玉入れ！」です。本番を迎えるまでにたくさんの練習をしてきました。どの種目も練習の成果がよく表れていました。徒競走ではゴールめがけて真剣な表情で真っ直ぐに走り抜ける姿が印象的でした。ダンスは、手足を伸ばして笑顔いっぱいに元気よく踊ることができました。「ピカピカの1年生」という全校からの声援に子ども達は嬉しそうでした。また来年どんな種目が待っているか今から楽しみですね。



2年生

「銀河鉄道999」の音楽に合わせて、大きな動きと手拍子で楽しそうに踊りました。一人ずつ立ち上がって踊るソロパートでは、緊張しながらも堂々とした姿と個性あふれる振り付けが光りました。障害物競走では、跳んで・渡って・くぐって、次々と課題をこなしながらゴールを目指して走り抜けました。最後は、1年生と力を合わせて玉入れに挑戦しました。「がんばれ！」と大きな声で声援を送り、1年生と協力する姿から、1年生を思いやる優しさと少しお姉さん、お兄さんになった2年生の成長を感じました。



3年生

羽ばたくような振り付けで登場した、「ツバメ」たち。休み時間にお手本の動画を見ながら練習をたくさんした結果、そろったダンス「ツバメ」を披露することができました。団体種目「大玉送り」では、4年生と協力し最後まで勝敗がわからないくらいの接戦を繰り広げられ、いつも以上に真剣な顔をしている子どもたちの様子が見られました。今年度は徒競走の走る順番をタイム別に決めました。「今年は初めて1位になれたよ。」と言った喜びの声が聞こえてきました。



4年生

今年の4年生は、ダンス「20260！未来見に行こう！」と障害走「この地球（ほし）を駆け抜けろ！万博大作戦！」に挑みました。大阪万博をテーマに、赤と青のTシャツをまとうて踊る姿は、誰よりも明るく元気な掛け声とともに、まさに4年生らしさ全開！ミャクミャクをイメージしたラストポーズには大きな拍手が送られました。障害走でも、ネットや平均台、カラフルなフラフープを駆け抜け、ゴールまで一直線。笑顔と熱気に包まれた最高の演技となりました。



5年生

5年生は学年競技では『徒競走』、表現運動では『南中ソーラン』に取り組みました。徒競走はシンプルに走力を競う種目でしたが、運動が得意ではない子も最後の最後まで手を抜かずゴールを目指して走りました。ソーラン節は北海道のニシン漁で大量に魚が取れた様子を表す縁起の良い踊りです。本番が近づくにつれ「どっこいしょ！」「やー！」といったかけ声も大きくなっていき、腰を落とすダイナミックな動作が繰り返しある体力的に大変な踊りでしたが、自分の殻を破り必死に全力を出す姿を見ることができました。



6年生

6年生は、ダンス『エイサー～ダイナミック琉球～』を披露しました。ゆっくりとしたしなやかな動きと力強さや躍動感を表す振付はとても難しく、子ども達は何度も練習をしていました。当日は、最高学年らしく堂々とした動きができ練習の成果を発揮することができました。

障害走は、パン食いならぬ『お菓子食い』競争！実は、当日まで何がつるされているかは子供達に秘密にしていました。とれたお菓子を大事そうに持つ子ども達の姿が微笑ましかったです。

